

渡邊 敏 没後90年

令和2年度 市立大町山岳博物館 企画展

博物学と登山

RELATIONSHIP BETWEEN NATURAL HISTORY AND MOUNTAINEERING
2020 EXHIBITION OF OMACHI ALPINE MUSEUM

大正登山ブームや信州理科教育のさきがけともなった明治・大正・昭和初期の北アルプスにおける博物学と登山のかかわりをご紹介します。

博物学に通じた長野県内の教諭の士々らが残したゆかりの品々をご覧ください。



写真：〈上部左端から右回りに〉渡邊敏記念碑、渡邊敏肖像【大町市立大町西小学校蔵】、ライチョウ剥製【大町市立美麻小中学校蔵】、志村寛採集の植物腊葉標本【当館蔵】、田中阿歌麿による白馬大池での湖沼調査風景 1920（大正9）年【当館蔵】
〈中央〉窪田畔夫筆「郡治日録」1883（明治16）年 写し【一般社団法人北安曇教育会蔵】

— 大正登山ブームと
信州理科教育のさきがけ —

会 期 2020（令和2）年 7月18日（土）～9月27日（日）

※会期中、7・8月は無休。9月7日（月）・14日（月）・23日（水）は月曜または祝日の翌日のため休館

開館時間 午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）

会 場 市立 大町山岳博物館 特別展示室

観 覧 料 大人450円 高校生350円 小・中学生200円

※常設展示と共通、30名様以上の団体は各50円割引 そのほかの各種割引については窓口でお問い合わせください

主 催 市立大町山岳博物館

博物学と登山 一大正登山ブームと信州理科教育のさきがけ

明治維新以降、政府はそれまでの読み書き中心の学習ではなく、野外学習や科学実験などの実践的な教育を取り入れた新しい学習を全国で展開させました。明治・大正期、そうした教育を修めた信州の教師たちの中に、動物・植物や岩石・鉱物などといった、このころから盛んになりはじめた博物学の分野において、北アルプスなどの高山に自然科学のフィールドを積極的に求め、学術登山を実践する人びとが現れます。当時、国内の登山黎明期にあって、そうした博物学に通じた長野県内の教師たちが自ら生徒たちを引率して、授業での遠足や学校集団登山で北アルプスなどへ登ったことは、「大正登山ブーム」といわれる大正期以降の近代登山隆盛のひとつの要因を成したと考えられます。

なかでも、福島県出身の旧二本松藩士・渡邊敏[※]は明治・大正期に教諭や校長として大町市をはじめとする長野県内の学校に勤め、信州における近代教育の源流を形成した教育者のひとりです。とりわけ、日本登山史において特筆すべきは、国内の近代登山のさきがけのひとつとして明治10年代に白馬岳登山を行ったことと、明治30年代以降、その教育上の有用性をい

早く説いて学校集団登山を信州の山岳で実践したことです。国内の近代登山黎明期にあって、これらは注目に値します。さらに、信州理科教育の発展を担った河野齡蔵や矢澤米三郎、保科百助（五無齋）、志村寛（烏嶺）らといった植物・動物や岩石・鉱物などの博物学に通じた長野県内の教諭の士々たちが、信州の山岳をフィールドとした学術登山や生徒を引率しての学校集団登山を率先して行いました。現在までに、長野県内の中学校などで学校集団登山が広く行われてきている背景には、明治・大正期の教育者たちの活動があったことは見過ごせません。本展を通して、こうした登山が持つ日本登山史上の意義を再度見つめ直したいと考えます。

本展では、大正登山ブームや信州理科教育のさきがけともなった明治・大正・昭和初期の北アルプスにおける博物学と登山のかかりについて紹介し、博物学に通じた長野県内の教諭の士々たちが残したゆかりの品々約30点を展示します。

※渡邊 敏（わたなべ はやしびんさとし）…1847（弘化4）～1930（昭和5）年

■展示構成

- 第1章 博物学と登山
- 第2章 大正登山ブーム—近代登山の隆盛—
- 第3章 信州理科教育のさきがけ—博物学の士々群像—
- 第4章 山の博物誌—過去・現在・未来—

■主な展示資料

- 1 渡邊敏記念碑の拓本（額装）【大町市立大町西小学校蔵】
- 2 田中阿歌磨筆仏語の書（軸装）（パノル写真）【原資料：西山保氏蔵】
- 3 河野齡蔵使用の山高帽【白馬村教育委員会蔵・白馬村歴史民俗資料館展示】
- 4 矢澤米三郎著書【当館蔵】
- 5 保科百助蒐集 長野縣地學標本【大町市立大町西小学校蔵】
- 6 志村寛専用の植物標本ラベル【当館蔵】



企画展関連の催し

※下記の催しについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によって中止を含めて予定変更の可能性があります。随時、最新情報を当館公式ウェブサイトでご確認ください。

■ミュージアムガイド

学芸員が展示の見どころなどを解説します。

※事前申込み不要。当日直接ご参加ください。ただし、通常の観覧料が必要です。

- 期日 7月19日（日）8月10日（月・祝）※山の日 9月26日（土）
- 時間 各日とも1回目…午前10時30分～ 2回目…午後2時30分～
- ※各回の所要時間は20分程度、午前・午後とも内容は同じ。
- 会場 市立大町山岳博物館 特別展示室（企画展会場）

■フィールドワーク「白馬大池登山—博物学ゆかりの現地探訪—」

博物学にかかわる現地フィールドを学芸員らと一緒にたずねる1泊2日の登山。

白馬大池など白馬連峰周辺の博物学にちなむ山岳文化史を紹介するとともに、山の地形・地質や高山植物、ライチョウなどの動物について解説を行います。また、長野県山岳総合センターのスタッフにも講師として同行いただき、安全登山のアドバイスをさせていただきます。

※要参加費（交通費・宿泊費・保険料など）・要事前申込み。

- 期日 7月28日（火）・29（水）※1泊2日
- 場所 梅池～白馬大池周辺 往復（白馬大池山荘 宿泊）
- 協力 長野県山岳総合センター・大町山岳博物館友会の会
- 対象・定員 大人15名（定員になり次第締め切り）

※申し込み時期・方法等の詳細は、当館公式ウェブサイトでご確認いただくか、直接お問い合わせください。



【交通のご案内】

- JR大糸線・信濃大町駅から タクシー5分 徒歩 25分
- 長野自動車道・安曇野ICから 約40分
- 北陸自動車道・糸魚川ICから 約95分
- 上信越自動車道・長野ICから 約80分

■ワークショップ「一壘百験—山のミニ科学実験教室—」

※「さんぱくこども夏期だいがく」として実施

大町エネルギー博物館学芸員を講師に迎えた科学教室。

高い山でおこるふしぎな現象を再現して、その仕組みのなどを解き明かします。夏休みの自由研究にも最適です。

※参加費無料・要事前申込み。

- 期日 8月1日（土）
- 時間 午前9時30分～正午
- 会場 市立大町山岳博物館 講堂
- 協力 大町エネルギー博物館

対象・定員 小学生30名（定員になり次第締め切り）

※申し込み時期・方法等の詳細は、当館公式ウェブサイトでご確認いただくか、直接お問い合わせください。

■さんぱくゼミナール「信州の教育者・地質学者 保科百助—明治期を駆け抜けた唯一無二の奇才— 五無齋にせまる—」

信州の教育者・地質学者の保科百助（号・五無齋）について造詣の深い講師をお招きした講演会。

明治期を駆け抜けた唯一無二の奇才と称される保科百助について、その人物像やエピソード、後世に残したその功績などをお話しいただきます。

※参加費無料・事前申込み不要。

- 期日 9月27日（日）
- 時間 午後1時30分～午後3時
- 会場 市立大町山岳博物館 講堂
- 講師 村田長年さん（五無齋保科百助研究会）
- 対象・定員 どなたでも 先着50名

※当日直接会場へお越しください。なお、講演会は無料ですが、企画展の見学は通常の観覧料が必要です。

山岳博物館

URL : <https://www.omachi-sanpaku.com>

市立大町山岳博物館公式Webサイトは、大町山岳博物館友会の会の支援により、当博物館が運用しています。